



2025年1月14日

各 位

会 社 名 株式会社サカタのタネ
代 表 者 名 代表取締役社長 坂田 宏
(コード番号 1377 プライム)
上 席 執 行 役 員
問 合 せ 先 責 任 者 管 理 本 部 長 星 武 徳
経 理 部 長
(TEL. 045-945-8800)

2025年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年7月12日に公表いたしました2025年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想の数値と本日公表いたしました同実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2024年7月12日に公表いたしました2025年5月期通期の連結業績予想数値を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2025年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異（2024年6月1日～2024年11月30日）

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に帰属 する中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想 (A)	45,000	5,200	5,000	3,500	79.82
今回実績 (B)	42,325	5,672	5,650	5,123	116.84
増減額 (B - A)	△ 2,674	472	650	1,623	
増 減 率 (%)	△ 5.9	9.1	13.0	46.4	
(ご参考) 前期実績 (2024年5月期中間期)	40,872	5,292	5,698	3,226	72.75

(業績予想数値と実績値との差異の理由)

当中間連結会計期間（2024年6月1日から2024年11月30日まで）は、野菜種子の販売が欧州・中近東、南米、国内で好調に推移して前年同期比では増収となりましたが、北中米とアジアの売上が想定を下回ったこと、また為替レートが想定よりも円高水準となったため、当中間連結会計期間における売上高は業績予想を5.9%下回りました。販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上総利益率が想定よりも改善したことから、営業利益は9.1%、経常利益は13.0%、それぞれ予想を上回りました。さらに、ブラジルにおける連結子会社の洪水被害金額が想定よりも少なかったこと、アメリカにおける固定資産の売却益を計上したことなどから、親会社株主に帰属する中間純利益は業績予想を46.4%上回りました。

2. 2025年5月期通期連結業績予想数値の修正（2024年6月1日～2025年5月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する純利益 (百万円)	1株当たり 純利益 (円)
前回発表予想 (A)	93,500	11,000	11,000	8,000	182.44
今回修正予想 (B)	93,500	11,000	11,000	9,000	205.25
増減額 (B - A)	0	0	0	1,000	
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	12.5	
(ご参考) 前期実績 (2024年5月期)	88,677	10,495	11,124	16,162	365.22

(修正の理由)

通期の連結業績予想は、当中間連結会計期間における業績や今後の販売見込などを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益は据え置き、親会社株主に帰属する当期純利益について予想を上方修正いたします。

なお、想定為替レートは、米ドルは150円、ユーロは160円と前回発表予想時レートを据え置き、ブラジルリアルやアジア通貨は2024年12月下旬の水準に変更いたしました。

(注) 本資料に記載された業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上